

\* 前期比：D I・季節調整済

景況

業況は-41と16ポイント悪化傾向を弱めました。売上額は4ポイント減少傾向を強め、収益は22ポイント減少傾向を弱めました。価格面では、料金価格は8ポイント下降傾向を弱め、材料価格は大きく上昇傾向に転じました。資金繰りは1ポイントわずかに窮屈感を弱めました。残業時間は減少傾向に転じ、人手は13ポイント不足感を弱めました。設備の状況は12ポイント過剰感が強まり、設備投資については、車両などで25%と前期比8ポイント増加しました。

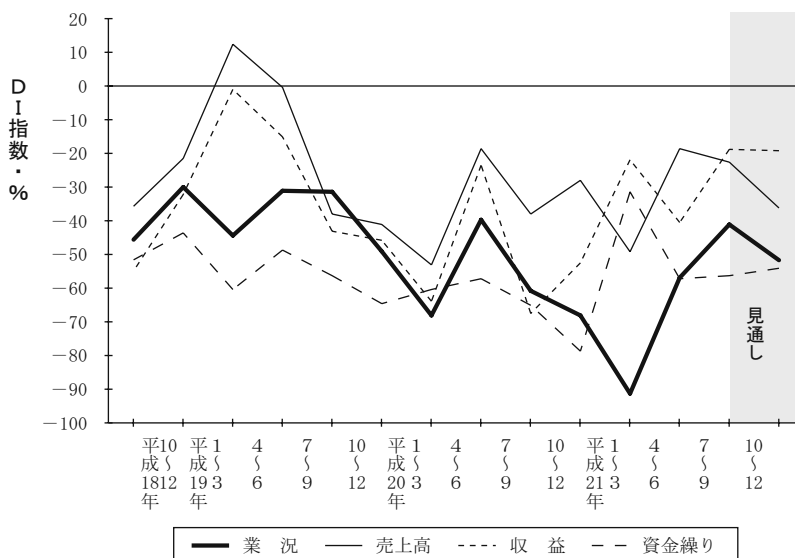
来期の見通し

業況は-52と今期に比べて11ポイント悪化傾向が強まるとみえています。売上額は13ポイント減少傾向を強め、収益は横ばいとなりそうです。価格面では、料金価格は横ばい、材料価格は5ポイント上昇傾向が弱まるとみえています。資金繰りは2ポイント窮屈感が弱まりそうです。残業時間は8ポイント減少傾向が強まり、人手は2ポイント不足感が強まるとみえています。設備の状況は12ポイント過剰感が弱まり、設備投資については今期と同様25%の実施予定としています。

調査員のコメント

- 規制緩和による新規参入で低価格競争激化し、生き残りをかけるべく合併により基盤強化を図る。  
(タクシー業)
- 同業者間の競争により、売上の低迷が続いている。優秀な人材が不足しているのが課題である。  
(タクシー業)

景況の推移



主な指標の動き

